

2022年度業務実績報告書

提出日 2023 年 1 月 18日

1. 職名・氏名 教授 大島千佳

2. 学位 学位 博士（看護学）、専門分野 基礎看護学、授与機関 石川県立看護大学、授与年 2009年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①基礎看護学技術2単位（学部1年生） 内容・ねらい；看実践能力の習得を目指し、日常生活の援助技術およびバイタルサインの観察技術を学習する。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、解剖学的根拠を重要視した教育を行った。
②臨床看護学技術2単位（学部1年生） 内容・ねらい；看実践能力の習得を目指し、日常生活の援助技術および診療の補助技術を学習する。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、解剖学的根拠を重要視した教育を行った。
③フィジカルアセスメント1単位（学部2年生） 内容・ねらい；全身状態を的確に把握するために、フィジカルイグザミネーション技術、看護過程展開技術を学習する。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、解剖学的根拠を重要視した教育を行った。
④看護研究方法論1単位（学部3年生） 内容・ねらい；看護研究の意義、方法論を学び、論理的思考と研究倫理を身につける。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、論理的思考を重要視した教育を行った。
⑤卒業研究4単位（学部4年生） 内容・ねらい；看護研究の意義、方法論を学び、論理的思考と研究倫理を実践し、卒業論文の作成、研究発表を行う。 講義上の工夫；Evidence based Nursing を主軸に、論理的思考を重要視した教育を行った。
⑥基礎看護学実習Ⅰ 1単位（学部1年生） 内容・ねらい；既習の看護技術が実際の看護場面でどのように適用されているのかを観察し、日常生活援助技術の実践を通して、看護の役割・機能を学ぶ。 実習運営上の工夫；学生個々の意見や柔軟な発想を重視し、臨地で学ぶこと、患者と接することの喜びとやりがいを感じられるように配慮した。
⑦基礎看護学実習Ⅱ 2単位（学部2年生） 内容・ねらい；対象者の個別性に合わせた看護計画を実践、評価し、看護過程を展開するための基礎能力を習得する。 実習運営上の工夫；学生個々の意見や柔軟な発想を重視し、患者と接することの喜びとやりがい、論理的思考の重要性を感じられるように配慮した。
⑧看護マネジメント実習 2単位（学部1年生） 内容・ねらい；看護の有効的なリーダーシップとマネジメントの実際を学習する。 実習運営上の工夫；学生個々の意見や柔軟な発想を重視し、臨床管理者・臨床スタッフと密に関われるように配慮した。
⑩看護管理論・看護マネジメント学特論（看護福祉学研究科1年生） 内容・ねらい；社会が求めるヘルスケアサービスの提供のために、保健医療福祉の政策を概観し必要な組織の構築や他組織と連携し協働するために看護の理念を掲げそれを具現化することができる能力を高める。 講義上の工夫；様々な立場の臨床管理者を招聘し、幅広い知識を教授できるように配慮した。

(2)その他の教育活動
内容 ①非常勤講師：福井県立看護専門学校「看護方法論Ⅶ(看護研究)」 ②非常勤講師：中部大学保健看護学科「解剖学」 ③講師：福井県立大野高等学校「個人探究活動」 ④看護福祉短期研修（フィンドレー大学）の引率教員として、4名の研修生と10月から週1回のミーティングを行い、効果的な研修となるよう事前学習をサポートしている

#### 4. 研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 <p style="text-align: right;">【0本】</p>
②学術論文（査読あり） Fumiya Hisano, Sachiyo Watanabe, Shiori Niwa, Keisuke Nakanishi, Ayana Mawaki, Yukari Takeno, Kaoru Murota, Ikumi Honda, Etsuko Fujimoto, <b><i>Chika Oshima (Corresponding Author)</i></b> : A Pilot Study of Determining the Reliability of a New Three-Dimensional Scanning System for Measuring Truncal Thickness After Breast Cancer Surgery. Lymphatic Research and Biology ( <b><i>IF: 2.349</i></b> ). 2022 Sep 16. doi: 10.1089/lrb.2022.0021. Online ahead of print. <p style="text-align: right;">【1本】</p>
③その他論文（査読なし） <p style="text-align: right;">【0本】</p>
④学会発表等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島千佳：現地特別企画「研究方法を学ぼう」動物と人からの2つのアプローチ—リンパ浮腫のケアに関して—第42回日本看護科学学会学術集会.2022.12. 広島（シンポジスト）.</li> <li>・中西啓介、丹羽史織、久野史椰、間脇彩奈、竹野ゆかり、本田育美、菊森豊根、大島千佳、藤本悦子：名古屋大学リンパ浮腫ケア研究チームの活動と今後の展望；第15回 がんのリンパ浮腫研究会. 2023,1.21.</li> </ul> <p style="text-align: right;">【2件】</p>
⑤その他の公表実績 <ul style="list-style-type: none"> <li>・大島千佳：オンラインセミナー「ナース・スタディチャンネル」出演 株式会社 gene 広報用動画：<a href="https://youtu.be/1ASIP9-BgIk">https://youtu.be/1ASIP9-BgIk</a></li> <li>・大島千佳：リンパ浮腫ケアのエビデンス確立を目指した研究活動紹介； 福井県立大学看護福祉学部第2回研究セミナー. 2022.6.15</li> </ul> <p style="text-align: right;">【2本】</p>
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
研究代表者 1. 基盤（C）平成31年～令和5年 リンパ浮腫患者の睡眠障害に関する研究—睡眠状況改善プログラムの開発—

共同研究者
2. 基盤(C) 平成 31 年～令和 5 年 リンパ浮腫評価指標の開発ー皮膚表面構造はリンパ浮腫を評価できるかー
3. 基盤(C) 令和 2 年～令和 6 年 リンパ浮腫の早期発見のための基礎研究ー体表面の微量生体ガスに着目してー
4. 基盤 (C) 令和 2 年～令和 6 年 看護教育における解剖生理学の再構築とその教育指針の作成
5. 基盤 (C) 令和 2 年～令和 8 年 虚血性心疾患患者における生活習慣改善に向けた睡眠への看護介入指標の確立
(3)特許等取得
なし
(4)学会活動等
・ コメディカル・形態機能学会役員として学会運営を支援

## 5. 地域・社会貢献活動

5-1. 学外団体における貢献 (委員、調査、共同研究など)
・ 第 1 回東海北陸リンパ浮腫ケア研究会を開催し、 共同研究者とともに、データ測定技術の検討を行った。
5-2. 大学主体の地域貢献活動
・ 大島千佳：がん治療後のリンパ浮腫に対するケア、 臨床に生かす看護研究～県大の看護教員はどんな研究をしているの？～；福井 県立大学 市民公開講座,2022.10.22
・ 新型コロナワクチン学内追加接種におけるワクチン接種業務 二日間

## 6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
・ 卒業研究優秀論文賞推薦委員長を務め、優秀論文の選抜を行った。 ・ 卒業研究係として、卒業研究発表会、卒業研究論文集作成を行った。 ・ 人権擁護・倫理委員会副委員長代理として、倫理審査に携わった。
(3)学内行事への参加
(4)その他、自発的活動など